

【重点目標】自ら考え、学び、ともに成長する、いきいきとした子ども



雨紛紛っ子

学校だより
令和8年度
第1号
令和8年5月8日

多幸感のある学校に

校長 佐藤 純一

昨年12月、国際科学雑誌『iScience』オンライン版に掲載された、麻布大学などの研究グループが発表した「イヌを飼育する児童の幸福度の上昇には細菌叢(さいまんそう)の変化が関与」というレポートを目にする機会があり、読んでびっくり！

『イヌを飼育する思春期の子どもは、そうでない子どもに比べて問題行動や非行行動が少なく、心理面でより安定していることが調査で示され、研究グループはその背景に細菌叢の変化が関わっている可能性を見いだした。実際に児童の口腔内細菌叢を無菌マウスに移植すると、イヌを飼育する子どもの細菌叢を受け取ったマウスは見知らぬ個体への関心が高まり、苦痛を受けている仲間になづく行動も増え、共感性の高さを示す特徴が現れた。

さらに、子どもの心理スコアやマウスの社会行動と細菌叢の遺伝子型を解析したところ、レンサ球菌属の細菌が両者に共通して関連していることが分かり、イヌとの生活が子どもの細菌叢を変化させ、その変化が社会性の向上に寄与している可能性が示唆された。

つまり、イヌと暮らすことが子どもの細菌叢に変化をもたらし、その変化が心理的な安定や社会性の高さにつながっている可能性がある。イヌと暮らすと多幸感が増す。』という内容。

我が家も今年8歳になるわんこがおりまして、彼女との生活を思い出して、「あー、わかるー！イヌと暮らすと、多幸感、増えるよなー！！」と思わず膝を打ってしまいました。一つ一つの多幸感は点にすぎないかもしれませんが、点がたくさん集まり、連なると線になる。幸せが線状になって続いていくのかも。レポートを読んで、そんな感想をもちました。



さて、新年度が始まり、いろいろと変化がありました。まず、卒業生が2人、新1年生が1人ということで、児童数は7人でスタート。学級が一つ減ったことで先生の数も1人減りました(足りないわけではありません)。給食は、家庭科室で全校で食べています。検食をするのが私の仕事の一つで、所見欄を見てみると、『子どもたちと一緒にご飯。〇〇ちゃんのお気に入りには豚丼ですって！』、『今日のインタビューは〇〇君。お勧めはポテトとベーコンのスープ！』、『〇〇ちゃん曰く、「全部、好き！」。全部好きって素敵ですよ』、『今日はメニューに「小」「小」「正」。しょうがいっぱいの日。〇君にインタビュー、「食べたいだけ食べていいよと言われて食べたいのは、さて、何でしょう？①小バナナ、②小籠包、③醤油野菜ラーメン』、『今日はカレーの日。〇〇ちゃんにはちょっとカレー(辛～)、〇〇ちゃんには中ぐらいカレー(辛～)、〇〇君は素早く食べカレー(華麗)にお替り、弟の〇〇君もそれに続くようにカレー(華麗)にお替り。』毎日毎日、みんなで楽しく食べられるって、何て幸せなことでしょう。この毎日の一つ一つの楽しさや幸福感が、子どもたちや教職員の多幸感につなげていくことができる学校にしていきたいものです。

始業式で子どもたちに話した今年の合言葉は「カエル」です。自分の何かをカエル、みんなで学校生活をカエル。その先に多幸感が感じられる未来をつくること。子どもに関わる学校にいる全ての大人が力を一つにして取り組んでいきたいと思えます。今年度も、保護者・地域の皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

始業式で子どもたちに話した今年の合言葉は「カエル」です。自分の何かをカエル、みんなで学校生活をカエル。その先に多幸感が感じられる未来をつくること。子どもに関わる学校にいる全ての大人が力を一つにして取り組んでいきたいと思えます。今年度も、保護者・地域の皆さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

- 児童会書記局役員紹介 -

会長 ○○ ○○
副会長 ○○ ○○



- PTA役員紹介 -

会長 ○○ ○○
副会長 ○○ ○○・○○ ○○
監事 ○○ ○○・○○ ○○



- 職員紹介 -

校長 ○○ ○○
教頭/4・6学級 ○○ ○○
低学年担任 ○○ ○○
ひばり学級担任 ○○ ○○
わかば学級担任 ○○ ○○
養護教諭 ○○ ○○
事務主任 ○○ ○○
給食調理指導員 ○○ ○○
専門補助員 ○○ ○○ (*本年度着任)
図書館司書 ○○ ○○
外国語専科 ○○ ○○



- 学校いじめ防止基本方針 -

昨年度の「学校いじめ防止基本方針」を点検・見直しを行い令和8年度版を作成しました。学校ホームページに掲載しております。

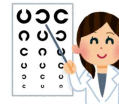
新しい仲間が増えました

今年度、1名の新入生を迎えることができました。名前は「○○ ○○くん」です。少し緊張もありましたが、ステージ上で「よろしくお願ひします。」と立派に発表することができました。登校すると教室の電気を付け、ホワイトボードに時間割を貼り…すっかり学校のルーティーンが身につき始めているようです。下校時は、○○くん(兄)への「バイバイ」も欠かせないようです。



- 5月の主な行事予定 -

- 1日(金)わかば教室
- 8日(金)クラブ①
- 13日(水)読み聞かせ① * こども富貴堂三者協議会
- 15日(金)遠足 * 弁当持参
- 18日(月)心電図検査
- 20日(水)耳鼻科検診
- 21日(木)諸費納入日
- 22日(金)遠足予備日 * 弁当必要です
- 25日(月)眼科検診
- 26日(火)雨紛子活動(講話)
- 28日(木)グラウンド整備・プール清掃



雨紛の風

* 雨紛地区の皆様「もっと雨紛小を身近に感じてもらいたい」という目的で、地域の方に寄稿をお願いします。

ドイツにポルシェというスポーツカーを造る自動車メーカーがあります。とても高性能で高額なのですが、自動車に対して日本車と決定的に異なる考え方を持っています。それは「部品」に廃盤という概念が存在しません。好きなモデル、好きなグレードを購入した後、乗り続けるには必ずメンテナンスが必要で、メーカーが潰れない限り、ずっと修理が可能で買い換えの必要がありません。50年前のポルシェの部品も普通に買えたりします。

今、ポルシェ販売台数の70%が現存していると言われています。ロングセラーと言われた日本の名車も勿論あります。しかしながら、見渡してもサニーやセドリック、パブリカやスターレット等、ほぼ見なくなりました。ポルシェの『大切な物は残す。大きく形は変えない。よい物を更によくする。過去を過去のモノにしない。』スポーツカーの考えが共感できるからだと思います。

雨紛小も、こうあって欲しいなと思うこの頃です。

○○ ○○ (PTA会長)